

子供たちの理科離れが懸念される中，一般教科（自然）では小・中学生に理科の楽しさを体験させ，親しみを持ってもらうことを目的に，2003年からこの科学教室を実施しています。6月18日には，「磁石の不思議」と題して第4回目を開催したところ，小学校高学年から中学生までの計32名の参加がありました。講師として一般教科から五十嵐先生・平に加えて，電子メディア工学科の渡辺先生にもご協力を頂きました。

教室の内容は，講師の3人がそれぞれ「希土類を体験しよう！」，「強い磁場の不思議現象」，「超伝導と磁石は親戚？」というテーマを設け，磁石に関する不思議な現象について体験してもらいました。写真の様子は，気体である酸素を液体にしているところですが，この液体酸素に強力な“希土類磁石”を近づけると，液体の酸素が磁石に吸い寄せられます。どのテーマもおおむね好評で，参加者は楽しそうに実験を行っていました。これからも，このような科学教室を定期的で開催していく予定です。